

深雪甚句

作詞 永井白比

作曲 中山晋平

雪の越路の美雪の中に

ハ ナントナント ナントシヨ

アツイ情けの花も咲く

ハ アリヤサ

ホンニ 花も咲く

ササナントシヨの花も咲く

ハ ナントナント ナントシヨ

雪の半年や下萌草よ

機を織る身も春を待つ

ホンニ春を待つ

ササナントシヨの春を待つ

(娘も若い衆も おどれやおどれ 音頭に合せて 仲良く丸く)

見えた見えたよ根雪もとけて

土に想いの草の芽が

ホンニ草の芽が

ササナントシヨの草の芽が

橋の長さを幾行きもどり

逢いに涼みに浅河原

ホンニ浅河原

ササナントシヨの浅河原

(山の狐も 娘に化けて おどりに混じれば 可愛じゃないか)

雪に折られた桜の枝も

時節来て咲きや花の春

ホンニ花の春

ササナントシヨの花の春